

# 栄養教育論実習

文教大学健康栄養学部の授業

[准教授 渡邊 美樹]



I (2年生秋学期=4セメスター)週1回・2コマ連続  
II (3年生春学期=5セメスター)週1回・2コマ連続

～「元気で長生き」を、食を通して伝える方法を学ぼう～

この授業では、栄養教育論(総論、各論Ⅰ・Ⅱ)の講義で学んだ栄養教育に必要な知識・技術を、実践に繋げることを目指します。栄養教育に必要な献立作成の演習、カウンセリング・スピーチ・プレゼンテーションの実践、栄養教育の立案・計画(Plan)・実施(Do)・評価(Check)・改善(Action)の演習などを30回(Ⅰ・Ⅱ各15回)の授業の中で行います。

実習ごとにレポート・作品の提出、確認テスト等を実施します。個人で取り組む課題とグループで取り組む課題があります。グループの人数・メンバーや学習時間(授業回数)は内容ごとに設定します。

実習ⅠとⅡの間にクラス替えがあるため、Ⅱの1回目の授業では、なるべく話したことのないと思われるペアを設定して課題に取り組ませることにより、交流を深めることも目指しています。

## <授業中の様子を写真で紹介>

①グループで討議中。この後、発表・全体討議へ...(実習Ⅰ)



②グループ発表(実習Ⅰ)



③母親教室で使用する媒体・教材(実習Ⅰ)



④ ⑤ ⑥ 高齢者介護予防教室のロールプレイング(実習Ⅱ)



⑦個別栄養教育のロールプレイング(実習Ⅱ)

## <授業紹介『中学生向け食育弁当コンクール』(実習Ⅱ：2コマ×4週)>

中学生用のお弁当をグループで考案し、プレゼンテーション・調理・試食・採点(評価)を行います。中学生に食に関するメッセージが伝わるようなお弁当づくりを目指します。授業の最終回(第15回)に結果発表をします。豪華賞品(?)は、みんなの温かい拍手!

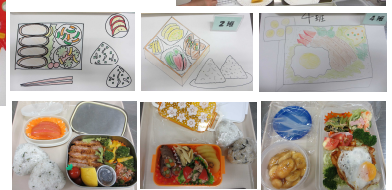


プレゼンテーション

完成予想図

お弁当の完成!

試食と評価



## ひとりひとりが「管理栄養士に必要な力・求められる力」をイメージする

グループで取り組む課題では、各自が持っている知識・技術を持ち寄り、議論しながら発表・提出に向かって作業を進めていきます。初めは戸惑うこともありますが、限られた時間の中でメンバーとコミュニケーションを取りながら課題に取り組むことにより、ひとりひとりが管理栄養士に必要な力・求められる力(共感する力、学ぶ力、話す力、調整する力、それから...)をイメージすることができると考えています。